

事務事業名		市立病院介護老人保健施設運営事業		会計	老健施設	実施区分			
H28担当課等名		市立病院介護老人保健施	H28係等名	管理係	事業種別	政策	開始	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり	H27係等名	管理係			
		施策	35	高齢者福祉の推進					
目的	対象(誰・何を)	入所・短期入所・通所等の利用者			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	介護を必要とする高齢者に安全安心なケアを提供する				入所定員:ベッド数	100		
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者(65歳以上)の割合				通所定員:人数	40		
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	施設入所利用率:% 入所利用者数/入所定員			95	90.2	95	91	
	成果指標	通所1日あたり利用者数:人			27	25.2	27	26	
定性目標									
事業概要	<p>市立病院介護老人保健施設は、在宅生活への復帰を目指し、機能訓練により、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことを目指している。入所希望者は、申込により施設内入所判定会において協議決定し、利用することができる。入所定員は、平成22年10月より50床から60床に、平成24年2月より60床から70床に、平成24年10月より70床から100床に増床、25年度からは通年100床で運営している。</p> <p>また、居宅支援事業として、通所リハビリテーション事業を実施。施設整備後の利用者拡大に伴い、22年6月から定員を20人から25人、24年4月より25人から40人として、居宅で生活している高齢者の支援を行っている。</p> <p>平成27年度より職員による「ゆうゆう経営会議」を新たに立ち上げ、経営改善に向けた具体的な取り組みについて検討を重ねており、介護報酬加算取得の庁内連携、市立病院とのベッド管理の連携について部署の垣根を越えて研究、検討を重ねている。</p> <p>数少ない公立の老健施設であり、地域住民に対して公立としての使命を果たすべく、業務を行っている。</p>								
事業内容					名称		活動指標		
27年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 入所及び短期入所におけるベッド利用率を年間を通じて、95%を目標とする。 通所の利用者拡大により、1日あたりの利用者数を平均27人以上を目標とする。 在宅介護支援事業は、ケアマネージャー2人体制で実施。 				入所・短期入所		定員100床/95床		
					通所リハビリテーション		定員40人/27人以上		
					在宅介護支援センター		78人/ケアマネ2人		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		648,227	682,900	658,118	693,000	特定財源(その他)…サービス収入、諸収入、繰越金			
国庫支出金						一般財源…一般会計繰入金			
県支出金									
起債									
その他		527,315	523,054	507,827	532,310				
一般財源		120,912	159,846	150,291	160,690				
人件費計(千円)②		438,554		448,558		(老健運営事業については、事業費に人件費を含んでいます。)			
正規職員所要時間		104,000		108,000					
臨時職員所要時間		62,000		58,000					
総事業費①+②		1,086,781	682,900	1,106,676	693,000				
事業内容・目標達成状況の振り返り		<p>入所については、特養への入所による急な退所や体調悪化による病院への入院が多く発生し、ベッド調整が難しい時期があったため、入所者数が下落した事もあったが、短期入所者の受け入れを効果的に行って、一定の入所者を確保する事が出来た。通所リハは、体調不良による利用者の減員する時期もあったが、目標の人員確保に向けて努力した。</p>							
改革改善の考え方	①問題点	入所定員100床運営における健全経営のために、通年入所ベッド利用率95%、通所1日あたりの利用者数27人以上確保の方策と、100床運営のため増大した人件費を含む歳出経費の削減。							
	②改革提案	入所者、通所者確保に向け市立病院等医療機関や他事業所との連携を強化する。人件費は、年齢構成、正規と臨職の比率等中長期的視野に立った配置計画を策定し、段階的に見直しを図る。							